

**留学先国名** : フィリピン

**留学先学校名** : パレットスクール

**留学期間** : 平成 27 年 8 月 1 日 ~ 平成 27 年 11 月 1 日

総じて満足のできた留学でした。

① 生活に関して

留学先の生活は、正直日本とは全く異なる環境でした。ドミトリと呼ばれる、寮の様な所で 6 人部屋での生活では、シャワーの水が出ない時がある、お湯がでない、クーラーが効かない、など日本では考えられない様な事が普通に起こっていました。また、普段の交通手段や、近辺の方々の生活環境も同様に日本とははるかに違うものでした。そこから学んだのは、いかに日本が恵まれているかとうことです。そして同時に日本などの先進国が、低賃金労働を強いたことで、そういった事を招いたことも知りました。私たちに、そういった国々を支援する義務があるのではないのか、と考えるきっかけになりました。

② 英語に関して

英語力も目標としていた、「不自由なく日常会話ができるようになる」を達成することができました。毎日 6 時間の個別レッスンに加え、それ以外の時間にも先生方と会話する時間を作り、積極的に英語を喋る機会を作っていました。ここでは継続的に英語を話し続ける重要性を学びました。よく、留学に行ったけど語学が充実しなかったという話を聞きますが、それは間違いなく目的意識がないか、自分から英語を話す機会を作っていないかです。

上記 2 点を踏まえ、今後は、自身の経験を活かしていきたいと考えます。具体的には、③海外で仕事のできる会社に就職する、④自分の経験を後輩に伝えていく、です。

③に関してですが、まだ世の中には海外で働きたいと思う人材が少なく見受けられます。それは実際にアンケートで証明されています。そんな、海外で働く人材が不足している中で、海外で積極的に働く人材となり、世界で活躍する日本人の一人になりたいと考えています。

④に関しては、これから留学へ行く後輩たちへのアドバイスとも重なりますが、多く伝えたいことがあります。

まずは、留学に行くなら、必ず目標を立てることです。私は計 2 回留学を経験し、それぞれ自分が満足いくレベルまで語学力を向上することができました。しかし、一方で、周りには思う様に語学が伸びず、悩んでいる友人を多数見てきました。その友人たちに共通していたのは、目的意識や目標を漠然としか持っていなかったことです。自分の成長した後のイメージをできていませんでした。留学に行くのなら、必ず「目的」があるはず。そして、今の自分と「目的」の間に、多くの「目標」があります。例えば、「英語をビジネスレベルまで上達させる」という「目的」があれば、「TOEIC800 点とる」などの目標ができるはず。そういった「目的」に対しての「目標」を決めることが、留学での自分の成長を図る指標となり、最終的にゴールを達成することにつながります。

次は、留学中に必ず現地、もしくは日本人以外の目的とする言語が流暢な友人を作ることです。どうしても、慣れない留學生活の序盤は、その不安をなくすために、日本人の友人と一緒にいようとしてしまいます。しかし、最初にそうしてしまうと、徐々に友人のグループが出来上がり、気づけば自分のグループは日本人しかいないということがよく起きてしまいます。そうなってしまえば、確実に語学の上達は見込めません。語学が一番上達するのは授業中ではなく、友人たちと話している日常生活です。語学は聞くだけでは上達しません。話して、使って、初めて上達します。そしてそれをするために、目的とする言語を流暢に話せる友人が必要なのです。もっといえば、留学中は携帯の言語や、調べ物をするときの言語なども、目的とする言語の方が望ましいでしょう。

最後は、留学後です。せっかく上達しても、それを使い続けないと意味がありません。特に、語学は少しでも使わない時期が長くなれば、すぐに忘れてしまいます。そして、これが一番語学が上達しない、キープできない一番の原因であると考えます。日本ではまだまだ、留学経験を生かせる様な場が少ない様に思えます。しかし、その中でも、自分の経験を生かせる場所を見つけないと、「少し長めの旅行」となら変わりません。オンラインのスクールを受けるのもよし、語学学校に通うのもよし、友人とその言語を使うのもよし、日本に住む外国人と仲良くなるのもよし、自分なりの手段を最低 1 つでも実施する必要がありますでしょう。

上記の様に、私は今回の留学で、改めて気づかされたこと、学んだことが多くありました。特に、自分が留学で得た、知見をどんどん伝えていくことが何より重要であると考えました。